

令和5年度森林土木関係予算の確保等について

平素より、森林土木事業の推進につきまして、格別のご理解とご支援をいただいております。厚くお礼申し上げます。

さて、近年激甚化・頻発化する気象災害に対して、将来にわたり地域の安全・安心を確保するためには、森林の防災・保水機能の高度発揮による「緑の国土強靱化」や2050年カーボンニュートラルの実現に向けた森林吸収源対策としての計画的な間伐・再造林等の森林整備及び林業の成長産業化に向けた木材の安定供給が喫緊の課題となっています。

一方、国内の人工造林の5割は植林から50年目を超えてCO₂の吸収量が大きく低下しているにもかかわらず、林道整備等が不十分であるため、必要な伐採や再造林は滞っているのが現状です。

岡山県においては、県土の67.9%を占める森林の保水力やCO₂の吸収力、森林の適正な管理を図るための基幹的な施設である林道の整備のための予算が、長期低落傾向にあることは否めません。

このことは、我々森林土木建設業にとりましても、長期にわたり建設投資額が減少しているわけで、受注量の大幅な減少や利益が確保できない工事の増加などにつながるため、より厳しい経営環境になる恐れがあります。

このため、令和5年度当初予算の編成にあたり、次のことについて、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。